

福岡県森林づくり活動公募事業開催日報告

団体名	北九州里山トラスト会議	記入者氏名	梶井 綾乃
開催日 開催場所	平成25年8月12日 19:00~21:00 河内・奥田の森	天候	晴れ
参加者数	12名	報道等	なし
実施内容	夏の夜空の観察会		
ケガ・事故等	なし		

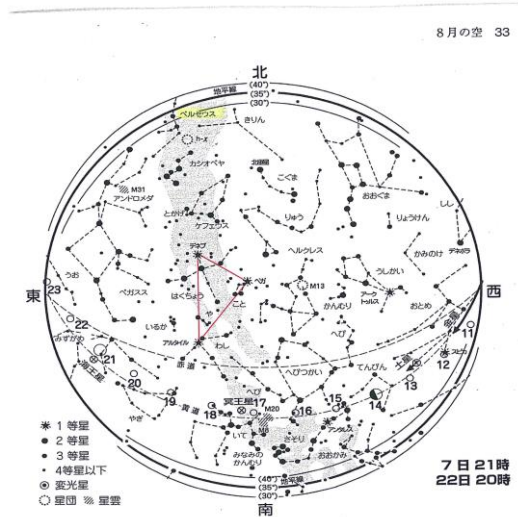
【実施内容】

19時に集合し、まだ明るいうちに場の準備を整えました。机や椅子を出し、双眼鏡や望遠鏡を設置。

観察前に、夏の時期に観察できる星について、資料を配布し、講習会をおこないました。並びに12日から13日にかけて深夜に観察できるペルセウス座流星群についても説明を受け、観察開始。

はじめに月と金星が見え、その後土星やこと座のベガ、はくちょう座のデネブ、わし座のアルタイルと次々に星や星座を観察しました。天気も良く、月も三日月で明るすぎず、絶好の観察日和となりました。

それぞれ存分に楽しみ、21時に終了。夜空の理解を深めた観察会でした。



8月の話題
 12日、おとめ座のスピカの星食(東京、潜入18:48、出現19:25)が起こる。また、19時2分には東北地方(秋田-岩手)で、月縁を明滅しながら通過する限界線星食となる。
 13日3時、ペルセウス座流星群が極大をむかえる。2012年は全国的に天候に恵まれなかった。流れ星は暗いものほど数が多くなる傾向がある。何等星まで見えるか空の状態、見える流れ星の数も違ってくる。そこで都会を離れ、天の川の見えるような環境の下で夜空を仰ぐが、一番やっかいで避けられないのが月明かりである。月は流星観察の大敵、3年に1度の割合で大きな障害となる。今年は上弦前の月が夜半前に沈んで暗夜となり、輻射点が高くなる明け方にかけては絶好の観察条件となる。
 27日、海王星が衝(+7.8等、みずがめ座、視直径2".4)をむかえ観望の好期。



講習・観察の様子

配布資料

今後の実施予定	<p>日時：8月17日(土) 9:00~</p> <p>場所：河内・奥田の森 内容：広場整備作業</p> <p>持参物：作業できる服装・靴、汗拭きタオル、軍手、昼食、飲み物、参加費500円</p>
---------	---